

天

地

岩城宏之指揮

ハイドン

オラトリオ「天地創造」

平成7年11月22日(水)午後6時30分／岩手県民会館大ホール

主催／岩手日報社、盛岡バッハ・カンタータ・フェライン

創

造

ごあいさつ

今回、国際的に活躍する指揮者・岩城宏之氏を指揮者に迎えてハイドンの大曲オラトリオ「天地創造」全曲演奏会を開催することができますのは、大きな喜びです。

今回の演奏会は、国内ばかりでなく国際的に演奏活動を行っている声楽家の佐々木正利氏（二期会）が、合唱指揮する盛岡バッハ・カンタータ・フェラインと仙台宗教音楽合唱団、さらにオーケストラとして岩城氏が音楽監督を努めるオーケストラ・アンサンブル金沢を迎え総勢150名を超す出演者による演奏会となりました。

オーケストラ・アンサンブル金沢は、石川県と金沢市が中心になって1988年に設立されました。初代の音楽監督は岩城氏で、世界各国から演奏者を集めて、質の高い音楽活動を地元と二人三脚で進めています。1993年からは日本の作曲家へ委嘱したシリーズ「21世紀へのメッセージ」の新曲CDを毎年発表しています。それらの実績が評価され今年、第5回出光音楽大賞を受賞しています。多彩に活躍する岩城氏ですが、盛岡での演奏会は24年ぶりとなり岩手県民会館では初の指揮となります。

盛岡バッハ・カンタータ・フェラインは、今年結成18年目を迎えました。佐々木氏の指導の下、「歌う喜び、聞く感動」を培い、盛岡ばかりでなく演奏活動を海外にも広げています。今年、四月から五月にかけてドイツ各地で今回のプログラム「天地創造」の演奏を行い、絶賛の拍手で迎えられました。

「天地創造」は、しっかりした実力がないと演奏会は不可能といわれます。国内でも全曲演奏は難しく、今回の演奏会は岩手の音楽ファンにとって快挙といえます。

「天地創造」のもつ抒情性に富み、高く歌い上げる人間賛歌をお楽しみ下さい。

岩手日報社

ハイドン オラトリオ 天地創造
Joseph Haydn Oratorio Die Schöpfung

プログラム

ERSTER TEIL 第1部

— 休憩 15分 —

1. Overture
序奏
Im Anfange schuff Gott
始めに神は
2. Nun scheiden vor dem heiligen Strahle
今や聖なる光を前に
3. Und Gott machte das Firmament
神は大空を造って
4. Mit Staunen sieht das Wunderwerk
喜ばしき天の軍勢は
5. Und Gott sprach: Es sammle sich das Wasser
神はまたいわれた: 天の下の水は
6. Rollend in schäumende Wellen
泡立つ波とどろき
7. Und Gott sprach: Es bringe die Erde
神はまたいわれた: 地は青草と
8. Nun beut die Flur
今や新たなる緑、野に萌え
9. Und die himmlische Heerscharen
天の軍勢は
10. Stimmt an die Saiten
弦を合わせよ、豎琴をとれ!
11. Und Gott sprach: Es sei'n Lichter
神はいわれた: 天の大空に光があつて
12. Im vollen Glanze steigt jetzt
今や輝きに満ちて
13. Die Himmel erzählen die Ehre Gottes
もろもろの天は神の栄光を現わし

ZWEITER TEIL 第2部

14. Und Gott sprach: Es bringe das Wasser
神はいわれた: 水は生き物の群れで満ち
15. Auf starkem Fittige schwinget sich
力強き羽ばたきもて
16. Und Gott schuf große Walfische
神は大きな鯨と
17. Und die Engel rührten
天使たちは不滅の
18. In holder Anmut stehn
若々しき緑に飾られ
19. Der Herr ist groß
主はその御力によりて大いなり

20. Und Gott sprach: Es bringe die Erde
神はいわれた: 地は生き物を
21. Gleich öffnet sich der Erde Schoß
大地の内部をただちに開いて
22. Nun scheint in vollem Glanze der Himmel
今や天は栄光に輝き
23. Und Gott schuf den Menschen
神は自分の形に似せて
24. Mit Wurd' und Hoheit angetan
威厳と気高さを身につけ
25. Und Gott sah jedes Ding
神は造った全てのものを
26. Vollendet ist das große Werk
大いなる御業は成りぬ
27. Zu dir, o Herr, blickt alles auf
おお主よ、万物は御身を待ち望み
28. Vollendet ist das große Werk
大いなる御業は成りぬ

DRITTER TEIL 第3部

29. Aus Rosenwolken bricht
薔薇色の雲が碎け
30. Von deiner Güte, o Herr und Gott
おお、主なる神よ
31. Nun ist die erste Pflicht erfüllt
われら創造者に感謝を捧げ
32. Halde Gattin, dir zur Seite
やさしき妻よ、汝の傍らにあらば
33. O glücklich Paar
おお幸福な夫婦よ
34. Singt dem Herren alle Stimmen
全ての声よ、主に向かい歌え!

指揮: 岩城 宏之

管弦楽: オーケストラ・アンサンブル金沢

チェンバロ: 劔持 清之

独唱

ソプラノ: 大島 洋子 (ガブリエル、イブ)

テノール: 佐々木 正利 (ウリエル)

バス: 大島 幾雄 (ラファエル、アダム)

アルト: 佐々木まり子

合唱: 仙台宗教音楽合唱団、盛岡バッハ・カンタータ・フェライン

後援: レンゴー株式会社

指揮 岩城 宏之

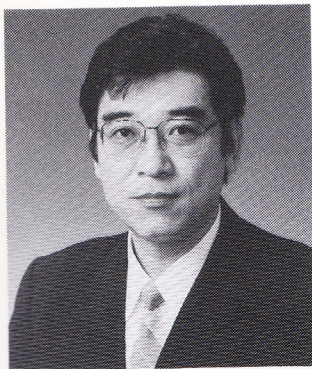


東京生まれ。東京芸術大学音楽学部器楽科中退。1956年9月NHK交響楽団の臨時演奏会で、チャイコフスキーの「悲愴」交響曲ほかを指揮してデビュー。1963年N響の指揮者に就任。1985年オーストラリア大勲章、1987年中島健蔵賞、1988年サントリー音楽賞、1990年フランス芸術文化勲章、1991年日本エッセイストクラブ賞の各賞を受賞。N響他、国内の主要オーケストラ、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団等、世界のメジャーオーケストラを常時客演指揮している。初演魔といわれているほど現代音楽の演奏に意欲的で、わが国の現代作品を海外の演奏会で常に指揮するばかりでなく、国内においても外国の優れた現代作品を数多く紹介している。N響終身正指揮者、メルボルン交響楽団終身桂冠指揮者、札幌交響楽団終身桂冠指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督、東京混声合唱団音楽監督を兼ねている。



オーケストラ・アンサンブル金沢

オーケストラ・アンサンブル金沢は、音楽監督に岩城宏之氏を迎え、日本最初の本格的なプロの室内オーケストラとして1988年11月に発足。世界中より広く演奏者を集め、“コンポーザー・イン・レジデンス”の制度を採用し、作曲委嘱を積極的に行う。設立2年目にはベルギー、フランスなど欧州5都市へ、92年、93年は豪州、ニュージーランド等へ海外演奏旅行。ビゼー／シCHEDリン「カルメン組曲」、シュニトケ「合奏協奏曲第1番」のCDがレコード・アカデミー賞を受賞。94年より「21世紀へのメッセージ」と題した日本の作曲家への委嘱作品のCD化を開始、1997年までに4枚のCDが予定されている。94年の東京でのベートーヴェンの全交響曲連続公演に続き、95年からモーツァルト全交響曲連続公演を行う。95年出光音楽大賞を受賞。95年10月シンガポール、インドネシアへの海外公演。東京、大阪、名古屋でも定期公演を行い、海外公演を含め高い評価を得ている。



東京芸術大学声楽科卒業。同大学院修士及び博士後期課程修了。須賀靖元（声楽）、小林道夫（演奏法）、服部幸三（音楽学）、森明彦（発声法）、松本民之助（作曲）、岳藤豪希（宗教音楽）の各氏に師事。1973年にバッハ・クリスマスオラトリオの福音史家で楽壇デビューして以来、バッハをはじめとする宗教音楽のスペシャリストとして揺るぎない地位を得ている。1979年シュトゥットガルトに渡り、L. フィッシャー教授に師事。1980年第6回ライブツィヒ国際バッハ・コンクール声楽部門第5位入賞。同年より1982年までデットモルト北西ドイツ音楽大学に学び、H. クレッチマル教授に師事。在独中は欧州各国の演奏会に招かれ、特に1980年ウィーン楽友協会ホールでのマタイ受難曲では『若き日のP. シュライヤー』と新聞各紙で絶賛される。帰国後もライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ベルリン交響楽団、ブタペスト・フィルハーモニー管弦楽団等、世界各国の著名オーケストラ、N響、読響等、日本の殆どのオーケストラのソリストとして起用され、K. マズア、H. シュタイン、H. プロムシュテット、岩城

宏之、小沢征爾等、世界を代表する数々の指揮者と共演。また世界的バッハ指揮者であるH. ヴィンシャーマン、H. リリング、H. J. ロッチュ、M. コルボ、R. ヤコブス等率いる、ドイツ・バッハ・ゾリステン、シュトゥットガルト・バッハ合奏団、ゲヒンゲン聖歌隊、聖トマス教会聖歌隊、RIAS室内合唱団等の演奏会に度々出演し信頼を勝ち得ている。1985年ザルツブルグ音楽祭に招かれ、R. パーダー指揮のモーツァルテウム管弦楽団、ベルリン聖ヘドヴィッヒ聖歌隊とバッハ・マニフィカト等を共演、絶賛を博した。在独中はヴェストファーレン州立歌劇場等で「グリゼルダ」のコッラード、「フィデリオ」のヤッキノ、「コシ・ファン・トゥッテ」のフェランド役で出演。現在までリサイタル18回を数え、レコード・CDも十数本、またテレビ、FM等にも度々出演している。

1970年東京芸大バッハ・カンタータ・クラブの創設に携わり、多くの後進を育てるとともに指揮者としての活動を開始。以後、20年余にわたって主に宗教曲の演奏に専念をみせ、そのいずれもが名演の誉れ高い。特に盛岡バッハ・カンタータ・フェライン、仙台宗教音楽合唱団を率いての3度にわたるドイツ公演では『シュツ、バッハの世界的担い手』とした最大級の賛辞が新聞各紙に掲載され、1993年のヴィンシャーマンとのマタイでは『マタイ演奏史上、最も特筆されるべき演奏の一つ』、また1995年のJ. ツィルヒとの天地創造では『音楽と言葉の見事なまでの融合』と、その音楽作りが絶賛された。1987、88年には、リリング音楽監督のバッハ・アカデミーにてTen. マスタークラスの講師を務め、またコダーイ・サマースクールや古楽サマースクール等でも指揮講師に招かれるなど、その指導力については世界的に定評がある。1994年、長年にわたる顕著な演奏・教育の業績に対し、第47回岩手日報文化賞（学芸部門）が贈られた。

現在、岩手大学教育学部音楽科教授。二期会会員。グルッペ・ベッヒライン会員。日本声楽発声学会理事。日本発声指導者協会常任理事。仙台バッハ・アカデミー理事。盛岡バッハ・カンタータ・フェライン、仙台宗教音楽合唱団、岡山バッハ・カンタータ協会、岩手大学合唱団、東北大学混声合唱団各常任指揮者。水戸バッハ・コレギウム音楽顧問。

大島幾雄 バリトン



1974年桐朋学園大学卒業。1978年オペラ研修所第1期生修了。萩谷納、伊藤武雄の両氏に師事。美声と豊かな音楽性は高く評価され、1979年第7回ジロー・オペラ賞を受賞。同年11月より文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学しさらなる研鑽を積んで翌1980年に帰国した。

オペラには1975年ラヴェル「スペインの時」ラミーロでデビュー。76年「タンホイザー」のビーテロルフで二期会オペラにデビュー。早くからバリトンの逸材として注目を浴びその後「フィガロの結婚」「ルチア」「蝶々夫人」「利口な女狐の物語」「ドン・カルロ」「ニュルンベルクのマイスタージンガー」「ドン・ジョヴァンニ」「ファルスタッフ」等の二期会オペラに次々と主演。85年には難役といわれるベルクの「ヴォツェック」タイトル・ロールで見事な歌唱を聴かせ、一躍その評価を高めた。その後も「愛の妙薬」ベルコーレ、「ペレアスとメリザンド」ペレアス、「神々の黄昏」グンター、「ボッペアの戴冠」オットーネ、「ラインの黄金」ドンナー等の難解な役柄を次々とこ

なす一方、「こうもり」のファルケ等オペレッタや、邦人作品の初演にも意欲的に取り組み主演するというレパートリーの広さ、硬軟とりまぜた演唱力には抜きん出たものがある。94年7月には、至難な技術を要する「トロヴァトーレ」のルーナ伯爵を見事に演じ、その的確な役作りと魅力的な歌唱は高い評価を受けた。10月には、文化庁芸術祭主催公演バーンスタイン「ミサ」において司祭役を熱演し、絶賛された。二期会を担うプリモ・バリトンとして注目を浴びている。

またコンサート歌手としても多くの実績を持ち、ベートーヴェン「第九交響曲」を始めとしてバッハ「ロ短調ミサ」「マタイ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、フォーレ「レクイエム」といった宗教曲から、マーラー「亡き子を偲ぶ歌」「交響曲第八」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」まで幅広い作品のソリストとして国内のあらゆるオーケストラ、内外のあらゆる著名な指揮者と共演しており、その実力はおおいに認められている。二期会会員。

大島洋子 ソプラノ

東京芸術大学卒業、同大学院修了。畑中良輔に師事。

1975年、第44回音楽コンクール第3位入賞。1976年、「夢遊病の女」のリーサでオペラデビュー。1978年、オペラ研修所第一期生を優秀な成績で修了し、同年11月に、「利口な女狐の物語」（ヤナーチェク）のビストロウシュカ（女狐）を歌い好評を得る。また、「夕鶴」の、つうをレパートリーに加え、日本各地で歌う。

1979年秋から、文化庁派遣芸術家在外研修員として、ミラノに留学。1980年10月帰国。その後、「フィガロの結婚」のスザンナ、「ドン・ジョヴァンニ」のツェルリーナを演じる。1985年、「ききみみずきん」（團伊玖磨）の長者の娘、1987年「白いけものの伝説」（林光）、1988年「脳死を越えて」（原嘉寿子）の主演を演じ、その確

かな音楽性は、高い評価を得ている。

また、コンサートでは、ベートーヴェンの「第九交響曲」、「ミサソレムニス」、モーツァルトの「レクイエム」「ハ短調ミサ」「戴冠ミサ」、オルフの「カルミナブラーナ」、マーラーの「交響曲第二番」「交響曲第四番」、ヴェルディの「レクイエム」、バッハの「ロ短調ミサ」「マタイ受難曲」、メンデルスゾーンの「エリア」、ヘンデルの「メサイア」等で活躍。第17回ジローオペラ賞受賞。二期会会員。



佐々木まり子 アルト

東京芸術大学音楽科卒業。同大学院修士課程独唱科修了。毎日学生音楽コンクール西日本一位。NHK新人演奏会出演。伊藤亘行、森明彦の両氏に師事。学部在学中より小林道夫氏のもとにおける東京芸術大学バッハ・カンタータ・クラブ演奏会において数多くのカンタータ、オラトリオのアルト・ソロを受け持つ。

又、大学合唱団体及び一般合唱団と多数共演。モーツァルト「レクイエム」「戴冠ミサ」ヘンデル「メサイア」、バッハ「ロ短調ミサ」などに出演する。尚美短大講師として後進の指導に当たり、後1980年にデッドモルト北西ドイツ音楽大学に留学し、ヘルムート・クレッチマル教授に師事。

その間、北ドイツにおいて、バッハを中心とした宗教音楽演奏会に数多く出演。ヒルデスハイムにおける「アルト・ソロ・カンタータ」、ミュンスターにおけるC・Ph・E・バッハの「マニフィカト」の新聞紙上で絶賛される。帰国後もH. ヴィンシャーマンとの共演をはじめ、「マタイ」「ヨハネ」両受難曲、「ロ短調ミサ」「クリスマスオラトリオ」多数のカンタータ、ヘンデルの「メサイア」「エジプトのイスラエル人」、メンデルスゾーンの「エリア」「パウロ」などオラトリオのソリストとして、東京を中心に、札幌、仙台、横浜、名古屋の各地で演奏活動を行っている。

1985年には旧西ドイツのオルデンブルク、アーヘンにて、ヘンデルの「プロケス受難曲」、バッハの「復活祭オラトリオ」のアルト・ソロを歌い、1986年にも「メサイア」のソリストとして渡独。昨秋H. ヴィンシャーマン指揮ドイツ・バッハ・ゾリステンの「マタイ受難曲」にアルトソリストとして各地を帯同。岩手大学、東北大学各合唱団ヴォイストレーナー。



剣持清之 チェンバロ

国立音楽大学卒業。「コンコーネ50番」ピアノ伴奏テープ録音。ビデオ・ディスク「チェンバロのすべて」録音。国立音楽大学助教授佐藤峰子氏の演奏会及び同氏主催音楽研究会専属ピアニストを努める一方、パロック・アンサンブル「Musika Anrede」チェンバロ奏者として活動。1991年仙台において海老沢敏氏によるモーツァルト没後200年記念講演でピアノ協奏曲を演奏し好評を得る。93年佐々木正利氏リサイタルにおいてオルガン、ピアノを務める。94年仙台NTT主催チェンバロ・リサイタルを行う。95年盛岡バッハ・カンタータ・フェラインドイツ演奏旅行に帯同し、ニュルンベルク交響楽団とのハイドン「天地創造」のチェンバロ、カメラータ・ヴォカール・ギョ

ンツブルクとの合同演奏会でのオルガンを務める。9月モーツァルトの室内楽リサイタル開催。ピアノを中村ウメ、佐々木靖子、小島満里、故ロマン・オルトナー、チェンバロ、通奏低音を西川清子の各氏に師事。現在、盛岡大学短期大学部助教授、盛岡楽友協会、グルッペ・ベッヒライン各会員。盛岡バッハ・カンタータ・フェラインオルガニスト。



仙台宗教音楽合唱団

当合唱団は1968年（昭和43年）に発足して以来、佐藤泰平氏の指導のもとでドイツバロック音楽を主なレパートリーとして活動をしている。1975年にはJ. S. バッハのマタイ受難曲の演奏会、翌年にはヘルムート・リリングの招きによるドイツ演奏旅行を行い、宗教音楽を専門とする合唱団として、仙台でも独自の地歩を固めた。1982年に佐々木正利氏を常任指揮者に迎えてからは、シュッツ、ブクステフーデ、バッハ、ヘンデルなどのドイツの宗教音楽のほか、シャパンティエ、デュリュフレといったフランスのバロック期、現代の宗教曲にもレパートリーを広げている。盛岡バッハ・カンタータ・フェラインとは、バッハのヨハネ受難曲、ロ短調ミサ曲等の宗教曲の大作に取り組む際、合同演奏という形で公演してきた。明日の仙台公演は、1994年のバッハのカンタータ演奏会、1995年の第4回ドイツ演奏旅行に続いての、当団としては19回目の演奏会となる。



ドイツ・バッハゾリステンとマタイ受難曲を演奏する両合唱団（1993年）

盛岡バッハ・カンタータ・フェライン

1977年J. S. バッハのカンタータを研究・演奏する目的で発足。以来一貫してバッハ作品を中心としたドイツ・バロック合唱曲の研究・演奏を行っている。1985年及び1991年の仙台宗教音楽合唱団とのドイツ演奏旅行ではバッハ・シュッツの作品の演奏について現地新聞の賛辞を受け、本年4月ミュンヘンのヘラクレスザールで演奏したハイドンの「天地創造」については「トップクラスの音楽的事件」と評価された。ここに至るまでには常任指揮者である佐々木正利氏のドイツ・バロック音楽に対する卓越した見識に基づいた指導の積み重ねがあった。これまで「メサイア」「クリスマス・オラトリオ」をはじめ、「マタイ」「ヨハネ」両受難曲、「ロ短調ミサ曲」等や数多くのカンタータ、宗教曲を演奏し、また1993年まで2度ヘルムート・ヴィンシャーマン指揮のドイツ・バッハゾリステンとの共演による「マタイ受難曲」その他の演奏会を行ってきた。今年の東日本合唱祭参加、チャペル・コンサート、チャリティ・コンサートなど幅広く活動している。

ヨーゼフ・ハイドンとオラトリオ『天地創造』

盛岡 バッハ カンタータ フェライン

サブ・コンサートマスター 佐々木 幹雄

J.ハイドンは 1732年に生まれ1809年に没したオーストリアの「作曲家」である。

「作曲家」が、宮廷に勤め主人のために作曲を続けたり教会に勤め神のために作曲したりするというバロック時代の生活スタイルから、楽譜出版によって収入を得るという市民の経済社会に基盤をおいた生活スタイルにしたいに変化していく時代に彼は生きた。彼は J.S. バッハの息子 J.C.F. バッハ（ビュッケルクのバッハ）と同じ時期に活躍した。ちなみに J.ハイドンが生まれた 1732年とは、J.S. バッハが 47歳でライプツィヒに住んでいたところである。

1761年から 1790年まで、オーストリアのエステルハージ伯につかえ、その間に J.ハイドンはじつに多くの弦楽四重奏曲や交響曲などの器楽曲を作曲し、作曲技法としての「ソナタ形式」を確立した。彼の声楽作品は器楽作品に比較して非常に少ない。

J.ハイドンはエステルハージ伯の宮廷楽団が解散されたのにもなって「作曲家」として自立し始めた。そして、宮廷楽団が解散された翌年、第1回のロンドン訪問を果たしている。このロンドン訪問では、ヘンデルの「オラトリオ」の市民レベルの演奏に触れた。これをきっかけとして、ハイドンはオラトリオ作曲へ意欲を示し、その後の2回目のロンドン旅行を終えた後、1797年（65歳）～1798年というまる1年と少しをかけて、この『天地創造』を作曲した。『天地創造』の後に作曲されたオラトリオは『四季』のみである。

「オラトリオ」とは、聖書の物語を基本にして歌詞が作られており、音楽はレチタティーフありアリアあり合唱ありと、多彩をきわめた声楽作品である。特にこの当時のものは合唱の役割を重視しているものが多い。

この『天地創造』は「天地の創造」と「エデンの園」のエピソードをもとにテキスト（歌詞）が構成されている。音楽の面では、ドイツの民謡風のしたがってドイツ語のイントネーションを十分に生かした親しみやすい旋律と絵画的なオーケストラの音型、また、創造主を賛美する伸びやかで力強い合唱などで構成されている。

そして、総体としてのテーマは、創造主と世界そして人間の賛美であり、それを音楽によって作り出したという人間精神の賛美でもあろう。

全体は3部から構成されており、内容は以下の通りである。

第1部

- 混沌から第1日----天・地・光の創造、「昼」と「夜」の名付け
……第1曲、第2曲
- 第2日----大空・雲・水の創造、「天」の名付け……第3曲、第4曲
- 第3日----「陸」・「海」、青草・種をもつ草・果樹の創造、名付け
……第5曲～第10曲
- 第4日----大きい光(昼)・小さい光(夜)・星の創造……第11曲～第13曲

第2部

- 第5日----海獣・魚・鳥の創造……………第14曲～第19曲
- 第6日----家畜・這う物・獣・人の創造……………第20曲～第28曲

第3部

- エデンの楽園における人間……………第29曲～第34曲

ソリストについては、第1部と第2部では語り手として3人の天使「ラファエル(バス)」「ウリエル(テノール)」「ガブリエル(ソプラノ)」を登場させている。第3部では天使「ウリエル」は残るが、バスとソプラノのソリストが「アダム」と「エヴァ」の役を担うことになる。

オーケストラの音型としては、混沌と光の表現(第1曲)、闇の世界と新しい世界の対比(第2曲)、嵐(第3曲)、水の流れ(第6曲)、星や太陽の輝き(第12曲)、鳥のさえずり(第15曲)、獣たちの重み(第22曲)などなどが用いられている。また、合唱を伴った、第10曲の力強い賛美、第13曲の雄大な歓び、第19曲の天使らの高らかな賛美、第26、28曲の天地創造の成就に対する躍動的な賛美などが、精神的な高まりを聞かせる。

以上のようなソリスト陣や、音によって具象的に情景や心情を表現しようとするオーケストラ、そして圧倒的な合唱をもって、J.ハイドンは創造主と世界そして人間を賛美するのである。

「天地創造」歌詞対訳

ERSTER TEIL

NR. 1 ORCHESTEREINLEITUNG "CHAOS"

REZITATIV RAPHAEL

Im Anfange schuf Gott Himmel und Erde, und die Erde war ohne Form und leer, und Finsternis war auf der Fläche der Tiefe.

CHOR

Und der Geist Gottes schwebte auf der Fläche der Wasser, und Gott sprach: Es werde Licht! Und es ward Licht.

REZITATIV URIEL

Und Gott sah das Licht, daß es gut war, und Gott schied das Licht von der Finsternis.

NR. 2 ARIE URIEL

Nun schwanden vor dem heiligen Strahle
Das schwarzen Dunkels gläuliche Schatten:
Der erste Tag entstand.

Verwirrung weicht, und Ordnung keimt empor. Erstarrt
entflieht der Hölle geister Schar In des Abgrunds
Tiefen hinab Zur ewigen Nacht.

CHOR

Verzweiflung, Wut und Schrecken Begleiten ihren Sturz,
Und eine neue Welt Entspringt auf Gottes Wort.

NR. 3 REZITATIV RAPHAEL

Und Gott machte das Firmament und teilte die Wasser,
die unter dem Firmament waren, von den Gewässern, die
ober dem Firmament waren, und es ward so. Da tobten
brausend heftige Stürme; wie Spreu vor dem Winde; so
flogen die Wolken, die Luft durchschnitten feurige
Blitze und schrecklich rollten die Donner umher. Der
Flut entstieg auf sein Geheiß der allerquickende
Regen, der allverheerende Schauer, der leichte,
flockige Schnee.

NR. 4 ARIE GABRIEL

Mit Staunen sieht das Wunderwerk der Himmelsbürger
frohe Schar,

GABRIEL UND CHOR

Und laut ertönt aus ihren Kehlen des Schöpfers Lob,
das Lob des zweiten Tags.

NR. 5 REZITATIV RAPHAEL

Und Gott sprach: Es sammle sich das Wasser unter dem
Himmel zusammen an einem Platz und es erscheine das
trockne Land; und es ward so. Und Gott nannte das
trockne Land "Erde" und die Sammlung der Wasser nannte
er "Meer"; und Gott sah, daß es gut war.

NR. 6 ARIE RAPHAEL

Rollend in schäumenden Wellen bewegt sich ungestüm das
Meer. Hügel und Felsen erscheinen, der Berge Gipfel
steigt empor. Die Fläche, weit gedehnt, durchläuft der
breite Strom in mancher Krümme. Leise rauschend
gleitet fort im stillen Tal der helle Bach.

第 1 部

第 1 曲 導入部「混沌」

レチタティーヴォ：ラファエル

はじめに神は天と地とを創造された。地は形なく、空しく、闇が淵のおもてにあった。

合唱

そして、神の霊が水のおもてをおおっていた。神は言われた。「光りあれ!」と。すると光があった。

レチタティーヴォ：ウリエル

神はその光を見て、良しとされ、光を闇と分けられた。

第 2 曲 アリア：ウリエル

いまや聖なる光の前に、暗黒の闇の灰色の影は消えうせ、第 1 日となった。混乱は退き、秩序がたかく芽生えた。地獄の霊の群れは、恐れおののき、深遠の深みを永劫の夜に向かつて堕ちていった。

合唱

彼らの破滅につきまとうのは、絶望と激怒と恐怖。そして、新しい世界が神の言葉の上に生まれた。

第 3 曲 レチタティーヴォ：ラファエル

神は大空を造り、大空の下の水と大空の上の水を分けられた。そのようになった。風が吹き荒れ、風に羽が飛び散るように、雲がちぎれ飛び、稲妻が走り、雷鳴がとどろく。神の御心で、溢れる水から、万物に生氣を与える雨、すべてを押し流す驟雨が降り、雪が真綿のように舞った。

第 4 曲 アリア：ガブリエル

喜ばしき天使の群は驚きをもって奇しき御業をながめる。

ガブリエルと合唱

彼らは声高らかに創造主への讃美、第二日の讃美を歌い上げた。

第 5 曲 レチタティーヴォ：ラファエル

また神は言われた、「天の下の水は一つ所に集まり、かわいた地が現れよ」そして、そのようになった。神はそのかわいた地を陸と名付け、水の集まった所を海と名付けられた。神は見て、良しとされた。

第 6 曲 アリア：ラファエル

泡立つ波はとどろき、海は荒れ狂う。丘と岩が現れ、山頂はそびえ立ち、平原が遙かに広がり、大河が曲がりくねって滔々と流れてゆく。小川は清くさらさらと静かな谷間を流れる。

NR.7 REZITATIV GABRIEL

Und Gott sprach: Es bringe die Erde Gras hervor, Kräuter, die Samen geden, und Obstbäume, die Früchte bringen ihrer Art gemäß, die ihren Samen in sich selbst haben auf der Erde; und es ward so.

NR.8 ARIE GABRIEL

Nun beut die Flur das frische Grün dem Auge zur Ergötzung dar; den anmutsvollen Blick erhöht der Blumen sanfter Schmuck. Hier duften Kräuter Balsam aus, hier sproßt den Wunden Heil. Die Zweigen krümmt der goldnen Früchte Last; hier wölbt der Hain zum kühlen Schirme sich; den steilen Berg bekront ein dichter Wald.

NR.9 REZITATIV URIEL

Und die himmelischen Heerscharen verkündigten den dritten Tag, Gott preisend und sprechend:

NR.10 CHOR

Stimmt an die Saiten, ergreift die Leier, laßt euren Lobgesang erschallen! Frohlocket dem Herrn, dem mächtigen Gott! Denn er hat Himmel und Erde bekleidet in herrlicher Pracht!

NR.11 REZITATIV URIEL

Und Gott sprach: Es sei'n Lichter an der Feste des Himmels, um den Tag von der Nacht zu scheiden und Licht auf der Erde zu geben; und es sei'n diese für Zeichen und für Zeiten und für Tage und für Jahre. Er machte die Sterne gleichfalls.

NR.12 REZITATIV URIEL

In vollem Glanze steigt jetzt die Sonne strahlend auf; ein wonnevoller Bräutigam, ein Reise, stolz und froh, zu rennen seine Bahn. Mit leisem Gang und sanftem Schimmer schleicht der Mond die stille Nacht hindurch. Den ausgedehnten Himmelsraum ziert ohne Zahl der hellen Sterne Gold, und die Söhne Gottes verkündigten den vierten Tag mit himmlischem Gesang, seine Macht ausrufend also:

NR.13 CHOR

Die Himmel erzählen die Ehre Gottes, und seiner Hände Werk zeigt an das Firmament.

TERZETT: GABRIEL, URIEL, RAPHAEL

Dem kommenden Tage sagt es der Tag, die Nacht, die verschwand, der folgenden Nacht. In alle Welt ergeht das Wort, jedem Ohre klingend, keiner Zunge fremd.

ZWEITER TEIL

NR.14 REZITATIV GABRIEL

Und Gott sprach: Es bringe das Wasser in der Fülle hervor webende Geschöpfe, die Leben haben, und Vögel, die über der Erde fliegen mögen in dem offenden Firmamente des Himmels.

NR.15 ARIE GABRIEL

Auf starkem Fittiche schwinget sich der Adler stolz und teilet die Luft im schnellsten Fluge zur Sonne hin. Den Morgen grüßt der Lerche frohes Lied, und Liebe girrt das zarte Taubenpaar. Aus jedem Busch und Hain erschallt der Nachtigallen süße Kehle. Noch drückte Gram nicht ihre Brust, noch war zur Klage nicht gestimmt ihr reizender Gesang.

第7曲 レチタティーヴォ: ガブリエル

神はまた言われた、「大地には草が生えよ。種をもつ草と、それぞれの種をもつ実をつける果樹が、大地には生えよ」そして、そのようになった。

第8曲 アリア: ガブリエル

今、野は新緑に萌え、目を楽しませてくれる。花々の楚々たる姿に、眺めは一層すばらしいものとなる。ここに、草木が芳香を放ち、ものの芽が吹き、枝は黄金の果実に撓み、生い茂る葉は緑陰をなし、険しい山は鬱蒼たる森を抱く。

第9曲 レチタティーヴォ: ウリエル

やがて天使の軍勢が第3日を告げ知らせ、神を讃えて言った。

第10曲 合唱

弦の調べを合わせよ、堅琴をとれ、汝らの讃美の歌をひびかせよ! 主は、天と地をすばらしい美しさでおおって下さったからである。

第11曲 レチタティーヴォ: ウリエル

神は言われた、「大空に光あれ、昼と夜を分けるために、地を照らし季節のしるし、日や年のしるしとなるために」神はまた星を造られた。

第12曲 レチタティーヴォ: ウリエル

今や輝きにみちて、陽は光を放ちながら昇る。歓喜に溢れる花婿、誇り高く楽しげな巨人は、おのが道を走って行く。静かな足取りで、柔らかい光を放って、月は静かな夜を忍び歩く。はてしなき大空を数知れぬ明るい黄金の星が飾る。そして、神の御子たちは聖なる歌をもって第4日を告げ、神の御力を声高らかに告げ知らせる。

第13曲 合唱

天は神の栄光を物語り、大空には神の御業が現れる。

三重唱: ガブリエル、ウリエル、ラファエル

この日はかの日に伝え、この夜はかの夜を告げる。語られないのに、その言葉は地の果てまで届き、耳という耳に響く。

第II部

第14曲 レチタティーヴォ: ガブリエル

神はまた言われた、「水の中には生き物が群れ、鳥は地の上の広い大空を飛べ」

第15曲 アリア: ガブリエル

力強い翼を広げて鷺は誇らかに舞い、大気をかきわけてすばらしい速さで陽に向かって飛び行く。雲雀は喜ばしき歌をうたって朝にあいさつを送り、やさしき鳩のつがいは愛をささやく。すべての繁みと森から夜鶯が甘き喉をひびかせる。重き悩みがその胸をしめつけたことはなく、その魅惑の歌は嘆きにはふさわしくない。

NR. 16 REZITATIV RAPHAEL

Und Gott schuf große Walfische und ein jedes lebende Geschöpf, das sich bewegt, und Gott segnete sie, sprechend: Seid fruchtbar alle, mehret euch! Bewohner der Luft, vermehret euch und füllet jede Tiefe! Seid fruchtbar, wachset, mehret euch, erfreuet euch in eurem Gott!

NR. 17 REZITATIV RAPHAEL

Und die Engel rührten ihr' unsterblichen Harfen und sangen die Wunder des fünften Tag's.

NR. 18 TERZETT: GABRIEL, URIEL, RAPHAEL

In holder Anmut stehn, mit jundem Grün geschmückt, die wogigten Hüdel da. Aus ihren Adern quillt in fließendem Kristall der kühlende Bach hervor. In frohen Kreisen schwebt, sich wiegend in der Luft, der munteren Vögel Schar. Den bunten Federglanz erhöht im Wechselflug das golene Sonnenlicht. Das helle Naß durchblitzt der Fisch und windet sich in stetem Gewühl umher. Vom tiefsten Meeresgrund wälzet sich Leviathan auf schäumender Well' empor. Wie viel sind deiner Werk', o Gott! Wer fasset ihre Zahl? Wer? O Gott!

NR. 19 CHOR, TERZETT: GABRIEL, URIEL, RAPHAEL

Der Herr ist groß in seiner Macht, und ewig bleibt sein Ruhm.

—— 休

NR. 20 REZITATIV RAPHAEL

Und Gott sprach: Es bringe die Erde hervor lebende Geschöpfe nach ihrer Art: Vieh und kriechendes Gewürm und Tiere der Erde nach ihren Gattungen.

NR. 21 REZITATIV RAPHAEL

Gleich öffnet sich der Erde Schoß und sie gebiert auf Gottes Wort Geschöpfe jeder Art, in vollem Wuchs und ohne Zahl. Vor Freude brüllend steht der Löwe da. Hier schießt der gelenkige Tiger empor. Das zackige Haupt erhebt der schnelle Hirsch. Mit fliegender Mähne springt und wiehert voll Mut und Kraft das edle Roß. Auf grünen Matten weidet schon das Rind in Herden abgeteilt. Die Triften deckt, als wie gesät das wollenreiche, sanfte Schaf. Wie Staub verbreitet sich in Schwarm und Wirbel das Heer der Insekten. In langen Zügen kriecht am Boden das Gewürm.

NR. 22 ARIE RAPHAEL

Nun scheint in vollem Glanze der Himmel, nun prangt in ihrem Schmucke die Erde. Die Luft erfüllt das leichte Gefieder, das Wasser schwellt der Fische Gewimmel. Den Boden drückt der Tiere Last. Doch war noch alles nicht vollbracht: Dem Ganzen fehlte das Geschöpf, das Gottes Werke dankbar sehn, des Herren Güte preisen soll.

NR. 23 REZITATIV URIEL

Und Gott schuf den Menschen nach seinem Ebenbilde, nach dem Ebenbilde Gottes schuf er ihn. Mann und Weib erschuf er sie. Den Atem das Lebens hauchte er in sein Angesicht, und der Mensch wurde zur lebendigen Seele.

第16曲 レチタティーヴォ：ラファエル

神は、大きな鯨とすべての動く生きものを造り、それらを祝福して言われた。「生めよ、ふえよ！空に棲むものたちよ、ふえよ、そしてすべての枝でうたえ！ふえよ、水に棲むものたちよ、そしてすべての淵を満たせ！生めよ、そだてよ、ふえよ、汝らの神の中にあって喜べ！」

第17曲 レチタティーヴォ：ラファエル

やがて天使たちは彼らの不滅の堅琴を奏で、第五日の奇すしき御業をうたった。

第18曲 三重唱：ガブリエル、ウリエル、ラファエル

若々しき緑に飾られて、ゆるやかにうねる丘は、やさしく優美な姿でたたずみ、その水脈からは、冷たい小川が流れる水晶となって湧き出でる。喜ばしき輪を描いて大気の中を揺れ動き、健やかな鳥たちの群が舞う。色とりどりの羽根の輝きは、黄金の陽の光をあびて、飛び交う中で強さを増す。魚は澄みきった水に銀鱗をひらめかせて、群をなして泳ぎまわる。深き海の底より巨大な怪物が泡立つ波のおもてに身をおどらせて現れる。神よ、あなたの御業のいかに多いことか！誰がその数を知ろう？誰が？おお神よ！

第19曲 合唱、三重唱：ガブリエル、ウリエル、ラファエル

主はその御力によりて大いなり。主の誉れはとこしえにあらむ。

憩 ——

第20曲 レチタティーヴォ：ラファエル

神はまた言われた、「地は生きものをその種類にしたがっていだせ、家畜と、這うものと、地の獣をその種と族にしたがっていだせ」

第21曲 レチタティーヴォ：ラファエル

大地はただちにその胎を開き、神の御言葉にしたがってあらゆる種類の生きものを完全な姿で数知れず生み出した。喜びのあまり獅子がはえたてたたずめば、ここでは、しなやかな虎が走りぬけ、足の速い鹿は角の生えた頭をもちあげる。たてがみをなびかせて気高き駿馬は跳ね、勇氣と力にあふれていなく。緑の野辺には、はや牛が群をなして草をはみ、毛の豊かなおとなしい羊たちが、まかれた種のように牧場をおおっている。虫の群はひしめき渦をまいて、塵のごとく拡がり、うごめく虫は長い痕をひいて地を這う。

第22曲 アリア：ラファエル

いまや天は光に溢れて輝き、地はその装いに照りはえる。軽やかな鳥は空にみち、魚は群れをなして水に溢れ、獣の重さが地を圧する。しかし、なおすべてが成就したわけではなかった。神の御業に感謝の眼をそそぎ、神の恵みを誉め讃えるべき被造物が欠けていた。

第23曲 レチタティーヴォ：ウリエル

そこで神はその御姿にしたがって人間をつくられた。すなわち、神のかたちにこれをつくり、男と女をつくられた。生命の息をその鼻に吹き入れたもうたので、人は生けるものとなった。

NR.24 ARIE URIEL

Mit Würd' und Hoheit angetan, mit Schönheit, Stärk' und Mut begabt, gen Himmel aufgerichtet, steht der Mensch, ein Mann und König der Natur. Die breit gewölbt', erhabne Stirn verkünd't der Weisheit tiefen Sinn, und aus dem hellen Blicke strahlt der Geist, des Schöpfers, Hauch und Ebenbild. An seinen Busen schmieget sich, für ihn, aus ihm geformt, die Gattin, hold und anmutsvoll. In froher Unschuld lächelt sie, des Frühlings reizend Bild, ihm Liebe, Glück und Wonne zu.

NR.25 REZITATIV RAPHAEL

Und Gott sah jedes Ding, was er gemacht hatte; und es war sehr gut; und der himmlische Chor feierte das Ende des sechsten Tages mit lautem Gesang.

NR.26 CHOR

Vollendet ist das große Werk; der Schöpfer sieht's und freuet sich. Auch unsre Freud erschalle laut, des Herren Lob sei unser Lied!

NR.27 TERZETT: GABRIEL, URIEL, RAPHAEL

Zu dir, o Herr, blickt alles auf, um Speise fleht dich alles an. Du öffnest deine Hand, gesättigt werden sie, Du wendest ab dein Angesicht, da bebet alles und erstarrt. Du nimmst den Odem weg, in Staub zerfallen sie. Den Odem hauchst du wieder aus, und neues Leben sproßt hervor. Verjüngt ist die Gestalt der Erd' an Reiz und Kraft.

NR.28 CHOR

Vollendet ist das große Werk, des Herren Lob sei unser Lied! Alles lobe seinen Namen, denn er allein ist hoch erhaben! Alleluja!

DRITTER TEIL

NR.29 REZITATIV URIEL

Aus Rosenwolken bricht, geweckt durch süßen Klang, der Morgen jung und schön. Vom himmlischen Gewölbe strömt reine Harmonie zur Erde hinab. Seht das beglückte Paar, wie Hand in Hand es geht! Aus ihren Blicken strahlt des heißen Danks Gefühl. Bald singt in lautem Ton ihr Mund des Schöpfers Lob. Laßt unsre Stimme dann sich mengen in ihr Leid!

NR.30 DUETT: ADAM UND EVA, CHOR

ADAM UND EVA

Von deiner Güte, o Herr und Gott, ist Erd' und Himmel voll. Die Welt, so groß, so wunderbar, ist deiner Hände Werk.

CHOR

Gesegnet sei des Herren Macht, sein Lob erschall' in Ewigkeit!

ADAM

Der Sterne hellster, o wie schön verkündest du den Tag! Wie schmückst du ihn, o Sonne du, des Weltalls Seel' und Aug'!

CHOR

Macht kund auf eurer weiten Bahn des Herren Macht und seinen Ruhm!

EVA

Und du, der Nächte Zierd' und Trost, und all des strahlend' Heer, verbreitet überall sein Lob in eurem Chorgesang!

ADAM

Ihr Elemente, deren Kraft stets neue Formen zeugt, ihr Dünst und Nebel, die der Wind versammelt und vertreibt

第24曲 アリア：ウリエル

威厳と気高さを身につけ、美と力と勇氣に恵まれ、天を仰いで、男にして自然の主たる一人の人間が立ちあらわれた。広く形よく秀でた額は知恵の深き心を示し、その澄み切った眼差しからは、霊が、創造者の息吹と御姿が輝きいでる。その胸に、彼のために、彼からつくられた妻がやさしくしとやかに寄りそう。喜ばしき罪なき心で、魅惑的な春の姿をした妻は、彼に愛と幸いと歓びをほほえみのうちにもたす。

第25曲 レチタティーヴォ：ラファエル

そこで神は、つくられたすべてのものを見られたところ、それは極めて良かった。そして、天使たちの合唱は第六日の終わりを声高くうたって、讃美した。

第26曲 合唱

大いなる御業はなりぬ。創造主はそれを見たまい、喜びたもう。われらの喜びも声高くひびかん、われらの歌は主の讃美にあり！

第27曲 三重唱：ガブリエル、ウリエル、ラファエル

おお主よ、すべてのものはあなたを仰ぎ見、すべてのものはその糧を乞い求める。あなたは御手を開いて、彼らを満たしたもう。あなたが御顔をそむけられれば、すべてのものはおののき、立ちすくむ。あなたが氣息を取り去られれば、すべてのものは倒れて塵となる。あなたが再び氣息を吹き込まれれば、新たな生命が芽をふく。大地の姿は若やいで、魅力と力を甦えらせん。

第28曲 合唱

大いなる御業は成りぬ。われらの歌は主の讃美にあり！すべてのものは主の御名を誉め讃えよ、主のめいと高きところにいませばなり！ハレルヤ！

第Ⅲ部

第29曲 レチタティーヴォ：ウリエル

薔薇色の雲をやぶり、甘きひびきに若々しく美しい朝がめざめた。天のおおぞらから清らかな調和のひびきが流れ下る。見よ、手に手を取って行く幸いなる夫婦を！彼らの眼差しからは、熱い感謝の思いが輝きいでている。すぐにかれらの唇は声高く創造主の讃美をうたう。さあ、われらの声を彼らの歌に合わせよう。

第30曲 二重唱：アダムとエヴァ、合唱

アダムとエヴァ

おお主なる神よ、天地はあなたの御恵みに満ちている。かくも大きく、かくもすばらしい世界は、あなたの御手の業です。

合唱

主の御力に祝福あれ、その誉れのとこしえにあらんことを

アダム

明るく輝く星よ、汝はその日の訪れを何と美しく告げることか！おお太陽よ、宇宙の霊にして眼である汝は、その日をなんと美しく飾ることか！

合唱

汝らのはるけき道にあって主の御力と誉れを広く告げ知らせよ！

エヴァ

そして、汝、夜の飾りであり慰めである全ての光を放つものの群れよ、汝らの声を合わせた歌により主の讃美をくまなくひろめよ！

アダム

常に新しい形を生みいだす力をもつ汝らもろもろの元素よ、風が集め、風が散らす汝ら霞と霧よ！

ADAM, EVA, CHOR

Lobsinget alle Gott, dem Herrn! Groß wie sein Nam' ist seine Macht.

EVA

Sanft rauschend lobt, o Quellen ihn! Den Wipfel neigt, ihr Bäum'! Ihr Pflanzen duftet, Blumen haucht ihm euren Wohlgeruch!

ADAM

Ihr, deren Pfad die Höh'n erklimmt, und ihr, die niedrig kriecht, ihr, deren Flug die Luft durchschneid't, und ihr im tiefen Naß:

ADAM, EVA, CHOR

Ihr Tiere, preiset alle Gott! Ihn lobe, was nur Odem hat!

ADAM UND EVA

Ihr dunkeln Hain', ihr Berg' und Tal, ihr Zeugen unsres Danks, ertönen sollt ihr früh und spät von unsrem Lobgesang.

CHOR

Heil dir, o Gott, o Schöpfer, Heil! Aus deinem Wort entstand die Welt; dich beten Erd' und Himmel an, wir preisen dich in Ewigkeit.

NR.31 REZITATIV ADAM UND EVA

ADAM

Nun ist die erste Pflicht erfüllt, dem Schöpfer haben wir gedenkt. Nun folge mir, Gefährtin meines Lebens! Ich leite dich und jeder Schritt weckt neue Freud' in unsrer Brust, zeigt Wunder überall. Erkennen Sollst du dann, welch' unaussprechlich Glück der Herr uns zugebracht, ihn preisen immerdar, ihm weihen Herz und Sinn. Komm, folge mir, ich leite dich.

EVA

O du, für den ich ward, mein Schirm, mein Schild, mein All! Dein Will' ist mir Gesetz. So hat's der Herr bestimmt, und dir gehorchen bringt mir Freude, Glück und Ruhm.

NR.32 DUETT: ADAM UND EVA

ADAM

Holde Gattin, dir zur Seite fließen sanft die Stunden hin. Jeder Augenblick ist Wonne, keine Sorge trübet sie.

EVA

Teurer Gatte, dir zur Seite schwimmt in Freuden mir das Herz. Dir gewidmet ist mein Leben, deine Liebe sei mein Lohn.

ADAM

Der tauende Morgen, o wie ermuntert er!

EVA

Die Kühle des Abends, o wie erquicket sie!

ADAM

Wie labend ist der ruden Früchte Saft!

EVA

Wie reizend ist der Blumen süßer Duft!

ADAM UND EVA

Doch ohne dich, was wäre mir der Morgentau, der Abendhauch? Der Früchte Saft? Der Blumen Duft? Mit dir erhöht sich jede Freude, mit dir genieß ich doppelt sie, mit dir ist Seligkeit des Leben, dir sei es ganz geweiht!

NR.33 REZITATIV URIEL

O glücklich Paar! und glücklich immerfort, wenn falscher Wahn euch nicht verführt, noch mehr zu wünschen, als ihr habt, und mehr zu wissen, als ihr sollt!

NR.34 CHOR UND SOLOQUARTETT

Singt dem Herren alle Stimmen! Dankt ihm alle seine Werke! Laßt zu Ehren seines Namens Lob im Wettgesang erschallen! Des Herren Ruhm, er bleibt in Ewigkeit. Amen!

アダム、エヴァ、合唱

全てのものよ、主なる神を讃美してうたえ! その御名の大きいなるがごとく、その御力も大いなり!

エヴァ

おお泉よ、静かにざわめいて主を讃えよ! 汝ら樹々よ、梢をたれよ! 花よ、主のためにその芳香をただよわせよ!

アダム

汝ら、小径を高めへとのぼるものよ、また汝ら、低く這うものよ、汝ら、そらをよぎって飛ぶものよ、そして汝ら、深き水の中にあるものよ!

アダム、エヴァ、合唱

汝ら獣よ、こぞりて主を讃えよ! 神を讃えよ、氣息あるものよ!

アダムとエヴァ

汝ら暗き森よ、山と谷よ、汝らわれらの感謝の証人よ、朝に夕にわれらが讃美のうたをひびかせよ!

合唱

幸いあれ、神よ、おお創造主よ、幸いあれ! あなたの言葉により世界は成った。天地はあなたをさがめ、われらはとこしえにあなたを誉め讃える。

第31曲 レチタティーヴォ: アダムとエヴァ

アダム

われらは創造主に感謝を捧げ、今その最初の務めをはたした。さあ私についてきなさい、わが生涯の伴侶よ。私はあなたを導き、ひと足ごとに新しい喜びを我々の胸によびおこし、いたるところに奇跡を示そう! そして、主がわれらにいかにか言葉では言い表せないような幸福を与えてくださったかを見分けなさい。いかなる時にも主をたたえ、心と意思を主に捧げなさい。さあ、ついてきなさい、私が導いてゆこう。

エヴァ

おお、私が生まれたのはあなたのため、私の守り、私の楯、私の全てよ! あなたの意志は私の掟です。主はそうに定められ、あなたに従うことは私に喜びと幸福と名誉をもたらすのです。

第32曲 二重唱: アダムとエヴァ

アダム

やさしき妻よ、おまえの傍にあれば、時は安らかに流れ、あらゆる時が歓喜となり、いかなる不安もそれを曇らすことはない。

エヴァ

いとしき夫よ、あなたの傍にあれば、心は喜びの中にただよう。私の生命はあなたに捧げたもの、あなたの愛は私への報いとなりましょう。

アダム

露に濡れた朝、おお、それは何と生気を与えてくれることか

エヴァ

夕べの涼しさ、おお、それは何とさわやかなことでしょう!

アダム

果実の液は何と元気を回復してくれることだろう!

エヴァ

花の甘き香りは何と魅惑的なのでしょうか!

アダムとエヴァ

しかし、あなたなしでは、朝の露も、夕べのそよ風も私にとって何になろう? 果実の液も? 花の香りも? あなたとともに全ての喜びは高まり、あなたとともに私はそれらを重ねて楽しむ。あなたとともにあれば、生命は至福であり、生命の全てをあなたに捧げよう!

第33曲 レチタティーヴォ: ウリエル

おお幸いなる夫婦よ、持てるものより多くを欲し、定められたものより多くを知ろうとする悪しき妄想が汝らを誘惑せぬかぎり、汝らはとこしえに幸いである。

第34曲 合唱と四重唱

主を讃えて歌え! 主の御業に感謝せよ! 主の御名のために讃美の歌を競って響かせよ! 主の栄光の永遠にあらんことを! アーメン!



I S H I K A W A

■航空機利用

東京→小松(60分)8便/日

■JR利用

東京→金沢(3時間58分)15往復

[上越新幹線長岡経由]

東京→金沢(4時間20分)15往復

[東海道新幹線米原経由]

大阪→金沢(2時間37分)24往復

名古屋→金沢(2時間54分)8往復

能 登

NOTO



金 沢

KANAZAWA



A C C E S S

■高速バス利用

[関東方面から]

東京[池袋]→金沢(7時間30分)4往復

東京[八王子]→金沢(8時間15分)2往復

千葉[TDL]→金沢(10時間40分)1往復

横浜→金沢(8時間20分)4往復

[中京方面から]

名古屋→金沢(3時間50分)10往復

名古屋→加賀温泉郷(3時間25分)1往復

[関西方面から]

京都→金沢(3時間57分)8往復

加 賀

KAGA



ほっと石川

石川県

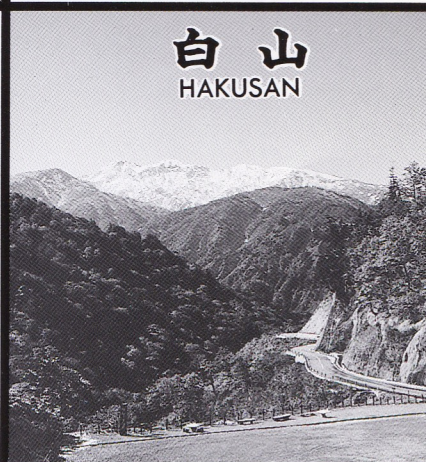
(社)石川県観光連盟

〒920 金沢市広岡町口-1

TEL(0762)32-2138

白 山

HAKUSAN



…いね金沢



まちなみの音色 (古い街並みの音 武家屋敷の音 茶屋街の音)

生活の音色 (四季の味覚の音 金沢ことばの響き まつりの音)

自然の音色 (用水の音 温泉の音 雪吊りの音 新緑の音)

伝統の音色 (友禅流しの音 三味線の音 琴の音 能の音)

金沢でいろいろな音色のオーケストラ

をお楽しみください。

問合わせ先 金沢市観光課 〒920 金沢市広坂1-1-1 TEL(0762)20-2194

至高の旋律 が聞こえてくる



Antonio Stradivari of Cremona 1714 "Lang"

段ボールと包装システムの
WAT

Design : Yasuo Ubukata